

コースコード: CO-DATAPLUS

税込価格: 170,500円 (税抜価格: 155,000円)

日数:3日間

前提条件

このコースで成功するためには、ビジネスインテリジェンス、レポート/データアナリストの職務で18-24 ヶ月の実務経験が必要です。 Microsoft Excelまたはスプレッドシートプログラムの実用的な知識を持っている必要があります。加算、減算、除算、乗算(基本的な算術計算)のような基本的な計算の組み立て方を理解していること。合計、平均、カウントなどの基本的な関数の作成方法を知っている必要があります。 Exce はたは類似のスプレッドシートプログラムで、データセットの並べ替えやフィルタリングの基本を理解している必要があります。ごく基本的なピボットテーブルの作成方法を知っている必要があります。データベースについてある程度理解している必要があり、データベースがどのように設計されているかを理解するためのあらゆる知識が役に立ちます。データを利用した簡単なグラフの作成方法について基本的な理解を持っていること。

受講対象者

CompTIA Data+ (試験番号: DA0-001) Official Guideは、組織内でレポート、調査、可視化、分析に使用するデータを収集することを職務とする場合に、受講が必要となる主要なコースです。CompTIA Data+(試験番号: DA0-001)認定試験の準備のために受講することができます。

コース概要

CompTIA は、情報技術(IT)プロフェッショナルと IT チャネル組織の利益向上を目的とした非営利の業界団体で、業界をリードする IT 認定資格はそのミッションの重要な一翼を担っています。CompTIA の Data+ 認定資格は、データドリブンなビジネス意思決定の開発および推進を任務とするプロフェッショナルのためのアーリーキャリア向けデータ分析資格です。

このコースは、2つの点で役に立つことができます。CompTIA Data+ (試験番号:DA0-001) 認定試験に合格するつもりであれば、このコースは準備の重要な一部となります。しかし、データ分析の分野でプロとして成功するための鍵は、認定資格だけではありません。このコースの情報とアクティビティは、以下のようなデータスキルセットを構築するのに役立ちます。

CompTIA Data+(DA0-001)の公式カリキュラムに準拠しています。

本トレーニングでは、知識の補強および理解度向上に利用いただける、オンラインラボ(12か月間利用可能)が含まれます。

目的

- データスキーマの基本概念を理解する
- 異なるデータシステムを理解する
- データの種類と特徴を理解する
- 異なるデータ構造、フォーマット、マークアップ言語の比較と対照
- データの統合と収集方法を説明する
- データのクレンジングとプロファイリングを行う一般的な理由を特定する
- さまざまなデータ操作のテクニックを実行する
- データ操作と最適化のための一般的なテクニックを説明する
- 記述的統計手法の適用



- 主要な分析テクニックを説明する
- 統計手法の使い分けを理解する
- 適切な種類の可視化を使用する
- ビジネス要件をレポート形式で表現する
- レポートとダッシュボードのためのコンポーネントを設計する
- 異なるレポートの種類を区別する
- データガバナンスの重要性を要約する
- データの品質管理を行う
- マスターデータ管理の概念を説明する
- 一般的なデータ分析ツールの識別

アウトライン

レッスン 1: データスキーマの基本概念の確認

トピック 1A: リレーショナルデータベースとノンリレーショナルデータベースの識別

トピック 1B: テーブルの使い方、主キー、正規化について理解する

レッスン 2: 異なるデータシステムを理解する

トピック 2A:データ処理およびストレージシステムの種類を説明する

トピック 2B: データがどのように変化するか説明する

レッスン 3: データの種類と特性を理解する

トピック 3A: データの種類を理解する

トピック 3B: フィールドデータ型の分解

レッスン 4:異なるデータ構造、フォーマット、マークアップ言語の比較と対比

トピック 4A:構造化データと非構造化データを区別する

トピック 4B: 異なるファイルフォーマットを認識する

トピック 4C: データに使用されるさまざまなコード言語を理解する

レッスン 5: データの統合と収集方法の説明

トピック 5A: データの抽出、変換、読み込みのプロセスを理解する

トピック 5B: API/Webスクレイピングとその他の収集方法の説明

トピック 5C: 公共および一般に公開されているデータの収集と使用

トピック 5D:調査データの使用と収集

レッスン 6: データのクレンジングとプロファイリングの一般的な理由の特定

トピック 6A:データのプロファイリングを学ぶ

トピック 6B: 冗長、重複、不要なデータに対処する

トピック 6C: 欠陥値の取り扱い

トピック 6D:アドレス無効データ

トピック 6E: 仕様に合うようにデータを変換する

レッスン 7: さまざまなデータ操作テクニックの実行

トピック 7A: フィールドデータの操作と変数の作成

トピック 7B: データの転置と追加

トピック 7C: データの照会

レッスン 8: データ操作と最適化のための一般的なテクニックの説明

トピック 8A: 関数を使ってデータを操作する

トピック 8B: クエリ最適化のための一般的なテクニックの使用

レッスン 9 記述統計手法の適用

トピック 9A: 中心傾向の測定値を使用する

トピック 9B: 分散の測定値を使用する

トピック 9C: 度数と割合を使用する

レッスン 10: 主な分析手法の説明

トピック 10A: 解析を始める

トピック 10B: 分析の種類を認識する



- レッスン 11: 様々な統計手法の使用方法を理解する
- トピック 11A: 統計的検定の重要性を理解する
- トピック 11B: 仮説検定を分解する
- トピック 11C: 変数間の関係を決定するテストとメソッドを理解する。
- レッスン 12: 適切な種類のビジュアライゼーションを使用する
- トピック 12A: 基本的なビジュアルを使用する
- トピック 12B: 高度なビジュアルを構築する
- トピック 12C: 地理データを使用したマップの作成
- トピック 12D: ビジュアルを使用してストーリーを伝える
- レッスン 13 ビジネス要件をレポート形式で表現する
- トピック13A: レポート作成時にオーディエンスのニーズを考慮する
- トピック 13B: レポート作成時のデータソースの考慮事項を説明する
- トピック 13C: レポートとダッシュボードを提供する際の考慮事項について説明する
- トピック 13D: レポートやダッシュボードを作成する
- トピック 13E: データの並べ替えとフィルタの方法を理解する
- レッスン 14: レポートとダッシュボードのコンポーネントをデザインする
- トピック 14A: レポート/ダッシュボードのデザイン要素を選択する
- トピック 14B: レポート/ダッシュボードの標準要素の活用
- トピック 14C: 物語とその他の文書要素の作成
- トピック 14D: デプロイメントの考慮事項を理解する
- レッスン 15: 様々な種類のレポートを区別する
- トピック 15A: 更新とタイミングがレポートに与える影響を理解する
- トピック 15B: レポートの種類を区別する
- レッスン 16 データガバナンスの重要性のまとめ
- トピック 16A:データガバナンスの定義
- トピック 16B: アクセス要件とポリシーを理解する
- トピック 16C: セキュリティ要件を理解する
- トピック 16D:エンティティ関係要件の理解
- レッスン 17 データの品質管理を行う
- トピック 17A: データ品質の特徴、ルール、および測定基準を説明する
- トピック 17B: データの品質チェックを行う理由とデータ検証の方法を特定する
- レッスン 18 マスターデータ管理の概念を説明する
- トピック 18A: マスターデータ管理の基本を説明する
- トピック 18B: マスターデータ管理プロセスの説明